

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	29	ホームは住宅街にあり、徒歩圏内に公園、神社、美容院、スーパー、ホームセンターなどがあるので、コロナ禍でも入居者の散歩の習慣は継続できている。しかし、2019年6月に開始した「サザンツリーカフェ(認知症カフェ)」は、2020年1月以降のコロナ禍で休止している。	感染リスクの低い散歩は継続できるが、住民との交流や、ボランティアの方を招いての地域を巻き込んだイベントができないので、これ以外の方法で地域にとけこんだ生活を送っていただく。サザンツリーカフェについては、ワクチンの接種が進み、感染リスクがなくなるまでは、再開を見合わせる。	散歩時に、話しかけてくださる地域住民の方と、距離を取りながらの少しのご挨拶などで、交流の場を絶やさない。季節が移り変わる様子、新緑や紅葉、空の青、雲の形、太陽の光、風の心地よさ、蝉の声など、生きていることが感じられるように、外とのつながりを断ち切らない取り組みを継続する。	12ヶ月
2	33	重度化や終末期の方針、具体的には、「看取り」「延命措置」について、事業所としての方針は、契約時または必要時に口頭で家族様に説明しているが、文書で明文化をしていない。すべての家族様と定期的に、意思を確認する必要がある。	事業所としての方針を明文化し、契約時または必要時に、介護スタッフが家族様や、問い合わせのあった人に示せるようにする。	重度化や終末期の方針について、事業所としての方針を記載した文書を作成する。救急搬送時などの「延命措置」については、定期的に家族様のご希望を確認する必要があるが、入居者様の年齢や健康状態などによって、変化することもあるため、とくに必要な方には面談の場を設けるなどして、常時から意思疎通を図っておく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。